

平成30年度 長崎県立西陵高等学校 職員用学校評価表(自己評価)後期

※ 「評価」の欄に、次の当てはまる番号を記入して下さい。
 4:十分達成している 3:おおむね達成している 2:どちらかという達成されていない 1:ほとんど達成されていない

※ 基本的には、先生方から見られた学校全体の評価を記入して下さい。ただし、(個)と添えてある項目は先生方個人の評価を記入して下さい。

教育目標	長崎県教育方針等に則り、生徒一人ひとりを大切に、その個性を最大限に伸ばすことを教育の基本とする。
	(1) 広い視野から自分で考え判断できる人間の育成に努めるとともに、郷土を愛し、国際社会で活躍できる個性豊かな人間を育てる。
	(2) 高い理想を掲げさせ、困難なことにも真正面から立ち向かうたくましい精神力を身につけさせる。
	(3) 知性と気品を備えた豊かな人格の陶冶に努めるとともに、生命・人間尊重の精神と態度を育成する。
本年度の重点努力目標	(1) 心豊かでたくましい人間力の育成
	(2) 学びの体幹強化と進路実現

評価項目	具体項目及び目標	具体的事項	評価			
			30後期	30前期	29後期	29前期

1 学校経営 全職員が共通の理念に立って学校運営ができたか。

(1) 教育目標	① 高い理想を掲げさせ、進取の気性を培うとともに、正面から困難に立ち向かうたくましい精神力を身につけさせる。	前年度の課題や生徒の実態を踏まえた適切な目標が設定できているか。	3.0	3.1	3.3	3.2	
	② 知性と気品を備えた豊かな人格の陶冶に努めるとともに、生命・人間尊重の精神と態度を育成する。	分掌や学年の経営方針に、教育目標を具現化する方策を盛り込んでいるか。	3.2	3.1	3.3	3.2	
	③ 学校教育活動のあらゆる場面で師弟同行を心掛け、体験活動等を通して協調心や他人を大切にすることを養う。	目標達成の度合いを年度途中で評価・確認し、その後の教育活動に生かしているか。	3.1	3.1	3.2	3.2	
(2) 教育目標の広報活動	④ 広い視野から自分で考え、判断できる人間の育成に努めるとともに、郷土を愛し、国際社会で活躍できる個性豊かな人間を育てる。	教育目標や経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	生徒・保護者・地域に目標や方針の説明をしているか。	3.1	3.2	3.2	3.2

2 教育活動 教育活動を計画的・組織的にこなせたか。

(1) 教育課程の編成	学習指導要領の主旨が生かされ、創意工夫した特色ある教育課程を編成する。	特色ある教育課程を編成しているか。	3.0	3.1	3.3	3.2
		年間及び毎時、目標を設定しながら授業をおこなっているか。(個)	3.0	3.0	3.1	3.2
(2) 教科指導	わかる授業の展開を目指して指導方法の創意工夫がなされている。	「当たり前の学び徹底宣言-学習三原則」に基づき、「着席指導・無駄のない授業・遅れない提出」の指導に心がけているか。(個)	3.0	2.9	3.0	3.2
		進捗表などを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明しているか。	3.1	3.1	3.1	3.2
		基礎・基本を重点化した指導をおこない、その定着を図っているか。(個)	3.2	3.1	3.3	3.2
		授業の中で「西陵milestone」に宿題等の指示を書き込ませているか。(個)	2.6	2.6	2.7	2.8
		適切な課題を与え、家庭学習の定着を図っているか。(個)	3.0	2.9	3.0	3.1
		生徒の予習・復習はなされているか。(個)	2.6	2.5	2.8	2.7
		少人数授業や習熟度授業などを通して、授業の創意工夫に努めているか。	3.1	3.0	3.2	3.1
		I C T機器を利用した授業を行っているか。(個)	2.9	2.8	2.9	2.2
教師の共通理解のもと適切な評価をおこなう。	教師間でよく話し合い、共通理解のもとで評価を行っているか。(個)	3.3	3.1	3.3	3.3	
	得点以外の観点も評価に加味し、多面的に能力を評価しているか。(個)	3.3	3.2	3.3	3.4	

評価項目	具体項目及び目標	具体的事項	評価			
			30後期	30前期	29後期	29前期
(3) 総合的な学習の時間	学習指導要領のねらいをふまえて、学校の特性を生かした活動をおこなう。	目標を定めた具体的な指導計画が立てられているか。	3.2	3.2	3.1	3.2
		学校の特性を生かしたものになるよう検討・研究を行っているか。	3.1	3.1	3.1	3.1
(4) 特別活動	読書活動の充実を図る。	黙読の時間等、読書活動が推進されているか。	3.4	3.4	3.4	3.4
		ホームルーム活動の充実を図る。	事前準備をよくおこない、活発なHR活動を展開しているか。(個)	3.0	3.0	3.0
	生徒会活動の充実を図る。	二人担任制は効果的に機能しているか。	3.2	3.3	3.2	3.3
		SHR等で「西陵mailestone」に連絡等を書き込ませているか。(個)	3.1	3.0	3.2	3.2
	学校行事の充実を図る。	生徒による活発な活動が展開されているか。	3.2	3.2	3.1	3.2
	部活動の活性化を図る。	生徒の実態に即した見直しや内容の工夫がされているか。	3.1	3.1	3.1	3.2
		部活動への参加を奨励し、学習との両立が実現できるよう心掛けているか。(個)	3.1	3.2	3.2	3.3
		「当り前の学び徹底宣言-部活動三原則」に基づき、時間を意識した「部室到着・部活動開始・校門通過」の指導に心がけているか。(個)	3.0	3.0	3.1	3.1
	部活動を通して、好ましい人間関係づくりや個性の伸長、学校生活の充実を図っているか。	3.3	3.2	3.3	3.3	
(5) 生徒指導・進路指導	基本的な生活習慣、品位ある生活態度を育成する。	挨拶がよくなされているか。	3.3	3.3	3.3	3.1
		マナーが守られているか。	3.1	3.1	3.2	3.1
		時間厳守がなされているか。	2.9	2.9	3.1	3.0
		頭髪・服装が整っているか。	3.1	3.1	3.3	3.2
		掃除が行き届いているか。	2.9	2.9	2.8	2.8
		「当り前の学び徹底宣言-生活三原則」に基づき、「家庭学習・生活習慣・無欠席」の指導に心がけているか。(個)	2.9	3.0	3.1	3.1
	進路指導の充実を図る。	学年に応じた系統的指導をおこなっているか。	3.2	3.2	3.3	3.2
		1・2年生は3時間、3年生は4時間の家庭学習を確保させているか。	2.4	2.3	2.7	2.6
		面談や「学習の記録」等を活用して、家庭学習の習慣化に努めているか。(個)	2.9	3.0	3.1	3.0
		難関校受験希望者等への個人指導を計画的に実施しているか。	2.8	2.8	2.9	2.8
個別面談・三者面談を充実させる準備を十分におこなっているか。(個)		3.0	3.1	3.1	3.0	
(6) 健康・安全教育	カウンセリングの充実を図る。	相談を受けるときに、カウンセリング・マインドに心掛けているか。(個)	3.2	3.3	3.2	3.3
	健康や安全に対する態度を育成する。	生徒の心身の健康について、養護教諭等との連携を密にした指導をおこなっているか。(個)	3.2	3.3	3.3	3.4
		組織的に対応する危機管理体制を整えているか。	3.2	3.1	3.3	3.2
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組を実施する。	いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりを意識した指導をおこなっているか。(個)	3.3	3.2	3.4	3.3
	定期的なアンケート、個人面談・保護者面談を通して早期発見に努めているか。	3.2	3.3	3.3	3.3	
(7) 人権教育	人権尊重に対する普遍的価値観を醸成する。	体系的な計画にもとづき、指導しているか。	3.0	3.1	3.2	3.1
		人権課題を解決しようとする生徒の態度を養っているか。	3.0	3.1	3.2	3.1
(8) 研修	研修体制の充実を図る。	授業見学等の機会を設け、教育実践の向上を図っているか。	3.1	3.3	3.4	3.2
		全職員に向けた校内研修をおこなっているか。	3.1	3.2	3.4	3.2
		教科・進路等校外での研修会へ積極的に参加し、資質向上を図っているか。(個)	2.8	3.0	3.1	3.1
		研修内容を他の職員に知らせる機会を設けているか。	3.0	3.1	3.1	3.2

評価項目	具体項目及び目標	具体的事項	評価			
			30後期	30前期	29後期	29前期

3 組織運営 組織が機能することで、教育活動が円滑におこなえたか。

(1) 校務分掌	適切な役割分担、組織的な活動と運営を推進する。	前年度の課題を確認し、その解決を図るよう努力しているか。	3.2	3.1	3.3	3.2
		学校全体の校務の円滑な推進のために、分掌相互間の連携が図られているか。	3.0	3.0	3.2	3.2
(2) 学年	学年目標を具現化し、達成のための教育活動を展開する。	学年全体が組織的に機能し、教師間の連携が図られているか。	3.0	3.2	3.2	3.2
(3) 各種委員会	目的に応じた適切な委員会の設置とその運用を図る。	各委員会の設置目的を確認し、新設・統合・廃止等の見直しをおこなっているか。	3.1	2.9	3.0	2.9
		各委員会での話し合いの結果を、教育活動に生かしているか。	3.1	3.0	3.1	3.0

4 教育環境 教育効果があがるような環境ができたか。

(1) 学校環境の整備	潤いのある生活環境の整備に努める。	全教職員で清掃指導がおこなわれているか。	3.1	3.2	3.0	3.1
(2) 施設・設備の管理	活用と安全管理を図る。	安全点検や補修を定期的におこなっているか。	3.3	3.3	3.2	3.2
(3) 情報インフラの整備・充実	教育活動全般の情報化を推進する。	パソコンによる校務処理を推進するとともに、データの共有化を図っているか。	3.3	3.3	3.3	3.4
	学校情報の発信を積極的におこなう。	ホームページや「学年だより」等を定期的に更新・発行し、情報の発信に努めているか。	3.4	3.3	3.3	3.3
(4) 個人情報の管理	個人情報の管理の適正化を図る。	個人情報の管理について、適切な措置がとられているか。	3.3	3.2	3.3	3.3
		データなどの校外への持ち出し禁止等のルールが守られているか。(個)	3.5	3.5	3.5	3.5

5 開かれた学校 保護者や地域等と十分な連携がとれているか。

(1) 保護者との連携	生徒に関する情報を相互に提供する協力体制を確立する。	生徒の状況について、保護者に連絡し、情報提供をおこなっているか。(個)	3.2	3.3	3.4	3.3
		保護者と協力しあい、遅刻・欠席を減らす努力をしているか。(個)	3.2	3.2	3.2	3.2
	P T A活動の充実を図る。	自主的なPTA活動が展開され、学校もその活動を積極的に支援しているか。	3.2	3.2	3.2	3.1
(2) 地域や関係機関との連携	学校の情報を提供し協力体制を確立する。	地域や関係機関の連絡協議会等に積極的に参加し、学校の情報を地域や関係機関に提供しているか。	3.2	3.2	3.3	3.3
	外部講師の活用を図る。	外部講師を積極的に活用しているか。	3.1	3.1	3.0	3.1
(3) 学校諸費会計の管理	学校諸費会計の管理の適正化を図る。	予算計画・通知・決算報告等、保護者への情報提供(説明責任)が果たされているか。	3.3	3.3	3.4	3.4
		徴収、契約、支払、通帳管理、決算監査等会計処理が適正に行われているか。	3.4	3.4	3.5	3.4